

岩盤ボーリング柱状図

調査名 加茂油木線 道路改良事業に伴う業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象 道路 構造物基礎

ボーリング名	Bv-6	調査位置	広島県福山市山野町池尻 (No.6+6.5 L2.5)	北緯	34° 39' 42.7870"
発注機関	広島県東部建設事務所	調査期間	令和4年 7月 5日～ 令和4年 7月 7日	東経	133° 22' 56.4950"
調査業者名		主任技師		現代場	
使用機種		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	T P 125.04m	角	180° 上 90° 下	方	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°
総削孔長	6.00m	度	0°	向	東
地盤勾配	30° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	東邦地下工機製D0型	
エンジン	ヤンマー(株)製 NFD-12型	ポンプ	東邦地下工機 BG-3C		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名 (標準)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	割れ目の形状	岩級区分	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm) R Q D [%]	記述	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験				原位置試験	室内試験	削孔状況	排水量 (L/h)
														N値	深さ	50回の貫入量	自沈時の貫入量				
			標混じり砂	黄褐							0.2mまでは褐色の表土。 泥質岩の軟質礫を含む砂質土で、風化土状を呈す。 礫はφ5~30mmの垂角礫主体で、一部軟質礫を含む。 2.9m付近より礫分増加、少量の垂円礫を混入する。 泥質岩主体で、細粒砂岩挟む。GL-3.6~4.4m間、破砕質で細礫状コア。 GL-4.4m以深、岩片は中硬質、割れ目間に粘土を挟む。幅5~10cmの軟質部 (CL級岩盤) を挟む。 層理面傾斜は20~30°塊状・塊質な細~中粒砂岩。白色細脈を挟む。	7/7 6.59	1.18 1.48 2.18 2.48 3.18 3.48 4.18 4.28 5.00 6.00	18 300 24 300 15 300 50 80 貫入不能 貫入不能	3.15 比連含水 4.73	300 66 80 66 60	0.0 0.0 0.1 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0.0 0.0 0.1 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0.0 0.0 0.1 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0.0 0.0 0.1 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0.0 0.0 0.1 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0

株式会社 荒谷建設コンサルタント